3. 和歌山市の取組に対しての満足度・重要度について

問9 和歌山市の取組に対する満足度と重要度

問9 和歌山市に住んでいて、次のことがらについてどのように感じていますか?

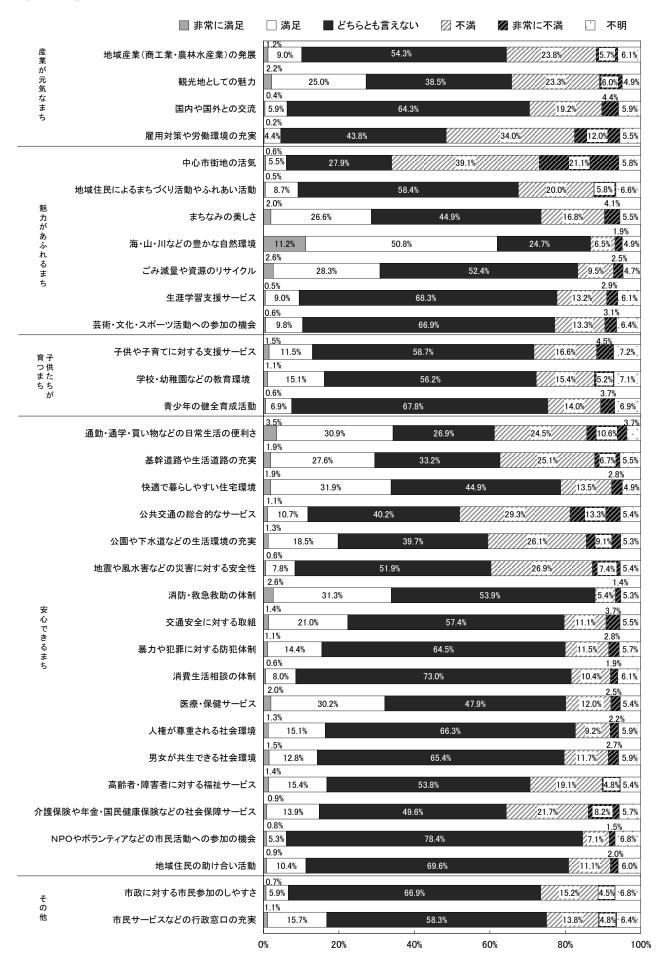
(1)満足度と(2)重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字をOで囲んでください。

満足度: 1.非常に満足 2.満足 3.どちらとも言えない 4.不満 5.非常に不満 重要度: 1.非常に重要 2.重要 3.どちらとも言えない 4.あまり重要ではない

5.全く重要ではない

5. 至く里安ではない	
安定した雇用を	地域産業(商工業・農林水産業)の発展
生み出す産業が	観光地としての魅力
元気なまち	国内や国外との交流
(以下「産業が元気なまち」という)	雇用対策や労働環境の充実
	中心市街地の活気
	地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動
住みたいと選ばれる	まちなみの美しさ
魅力があふれるまち	海・山・川などの豊かな自然環境
	ごみ減量や資源のリサイクル
(以下「魅力があふれるまち」という) 	生涯学習支援サービス
	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会
子供たちがいきいきと	子供や子育てに対する支援サービス
育つまち	学校・幼稚園などの教育環境
(以下「子供たちが育つまち」という)	青少年の健全育成活動
	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ
	基幹道路や生活道路の充実
	快適で暮らしやすい住宅環境
	公共交通の総合的なサービス
	公園や下水道などの生活環境の充実
	地震や風水害などの災害に対する安全性
誰もが安心して	消防・救急救助の体制
住み続けられる	交通安全に対する取組
持続可能なまち	暴力や犯罪に対する防犯体制
	消費生活相談の体制
(以下「安心できるまち」という)	医療・保健サービス
	人権が尊重される社会環境
	男女が共生できる社会環境
	高齢者・障害者に対する福祉サービス
	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス
	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会
	地域住民の助け合い活動
Z.O.14	市政に対する市民参加のしやすさ
その他	市民サービスなどの行政窓口の充実
	•

【満足度】



【満足度・不満度】

<全体>

和歌山市の取組の満足度(「非常に満足」と「満足」の合計)の上位5項目は順に、「海・山・川などの豊かな自然環境」(62.0%)、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」(34.4%)、「消防・救急救助の体制」(33.9%)、「快適で暮らしやすい住宅環境」(33.8%)、「医療・保健サービス」(32.2%)となっている。"魅力があふれるまち"、"安心できるまち"に関する項目が上位を占める結果となっている。

不満度(「非常に不満」と「不満」の合計)の上位5項目は順に、「中心市街地の活気」(60.2%)、「雇用対策や労働環境の充実」(46.0%)、「公共交通の総合的なサービス」(42.6%)、「公園や下水道などの生活環境の充実」(35.2%)、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」(35.1%)となっている。

【満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた合計】

_			_ / C III II			
		1位	2位	3位	4位	5位
ſ		・海・山・川などの豊かな自	・通勤・通学・買い物などの	・消防・救急救助の体制	・快適で暮らしやすい住宅環	医療・保健サービス
ŀ	全体	然環境	日常生活の便利さ		境	
((n=849)	【魅力があふれるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】
L		62.0%	34.4%	33.9%	33.8%	32.2%

【不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた合計】

	<u> </u>				
	1位	2位	3位	4位	5位
	中心市街地の活気	・雇用対策や労働環境の充	・公共交通の総合的なサー	・公園や下水道などの生活	・通勤・通学・買い物などの
全体		実	ビス	環境の充実	日常生活の便利さ
(n=849)	【魅力があふれるまち】	【産業が元気なまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】
	60.2%	46.0%	42.6%	35.2%	35.1%

<男女別満足度>

満足度の上位5位の項目について男女別でみると、いずれも1位は「海・山・川などの豊かな自然環境」となっており、2位以降は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「消防・救急救助の体制」、「医療・保健サービス」などの"安心できるまち"に関する項目が男女ともに上位を占める結果となっている。

【満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた合計】

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	・海・山・川などの豊かな自 然環境	・消防・救急救助の体制	・通勤・通学・買い物などの 日常生活の便利さ	•医療•保健サ―ビス	・基幹道路や生活道路の充 実
(n=366)	【魅力があふれるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】
	62.3%	35.0%	33.3%	32.5%	31.7%
女性	・海・山・川などの豊かな自然環境	・快適で暮らしやすい住宅環境	・通勤・通学・買い物などの 日常生活の便利さ	・消防・救急救助の体制	・医療・保健サービス
(n=467)	【魅力があふれるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】
	61.9%	36.2%	34.5%	33.2%	31.9%

<男女別不満度>

不満度の上位5位の項目について男女別でみると、いずれも1位は「中心市街地の活気」となっており、2位以降も「地域産業(商工業・農林水産業)の発展」、「雇用対策や労働環境の充実」、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「公共交通の総合的なサービス」、「公園や下水道などの生活環境の充実」など、上位を占める項目は男女で大きな違いはみられない。

【不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた合計】

【1`/	<u>非吊に个両」と「个両」を合わて</u>	2/_ [D]			
	1位	2位	3位	4位	5位
	・中心市街地の活気		・公共交通の総合的なサービス	・公園や下水道などの生活 環境の充実	・地域産業(商工業・農林水 産業)の発展
	【魅力があふれるまち】	【産業が元気なまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【産業が元気なまち】
男性 (n=366)					・通勤・通学・買い物などの 日常生活の便利さ
					【安心できるまち】
	65.3%	50.0%	43.7%	35.6%	35.0%
女性	・中心市街地の活気	・雇用対策や労働環境の充 実	・公共交通の総合的なサービス	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ	・公園や下水道などの生活 環境の充実
(n=467)	【魅力があふれるまち】	【産業が元気なまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】
	57.4%	43.0%	42.2%	36.0%	35.6%

注:同率の項目は並記している。※注は以降のページも同様である。

<年代別満足度>

満足度の上位 5 位の項目について年代別でみると、いずれの年代も 1 位は「海・山・川などの豊かな自然環境」となっている。また「80 歳以上」では「ごみ減量や資源のリサイクル」が同率 1 位となっている。 2 位は、「 $20\sim29$ 歳」では「快適で暮らしやすい住宅環境」、「 $30\sim39$ 歳」及び「 $50\sim59$ 歳」では「まちなみの美しさ」、「 $40\sim49$ 歳」及び「 $60\sim69$ 歳」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「 $70\sim79$ 歳」では「消防・救急救助の体制」となっている。

【満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた合計】

(n=8)	れるまち】 きるまち】 62.5% 5取組 きるまち】 34.7% い住宅環
18~19歳	れるまち】 きるまち】 62.5% 5取組 きるまち】 34.7% い住宅環
18~19歳 (n=8)	きるまち】 62.5% 5取組 きるまち】 34.7% い住宅環
(n=8)	きるまち】 62.5% 5取組 きるまち】 34.7% い住宅環
**(62.5% 5取組 きるまち】 34.7% い住宅環
20~29歳 (n=49) 然環境 (n=49) 集 【魅力があふれるまち】 (安心できるまち】 (安心できるまち) (安心できるまち】 (安心できるまち) (安心できるな) (安心できるな) (安心できるな) (安心できるな) (安心でな) (安心でな) (安心できるな) (安心できるな) (安心できるな) (安心でな)	る取組 きるまち】 34.7% い住宅環
20~29歳 (n=49) 然環境 (n=49) 集 【魅力があふれるまち】 (安心できるまち】 (安心できるまち) (安心できるまち】 (安心できるまち) (安心できるな) (安心できるな) (安心できるな) (安心できるな) (安心でな) (安心でな) (安心できるな) (安心できるな) (安心できるな) (安心でな)	きるまち】 34.7% い住宅環
【魅力があふれるまち】 【安心できるまち】 【を小できるまち】 【を小できる。	34.7% い住宅環
69.4% 44.9% 38.8% 36.7% 1.0mm	34.7% い住宅環
30~39歳 (n=98) ・海・山・川などの豊かな自 (魅力があふれるまち) (魅力があふれるまち) (大適で暮らしやすい住宅環 (安心できるまち) (大適で暮らしやすい住宅環 (安心できるまち) (安心できるまち) (安心できるまち) (安心できるまち) (安心できるまち) (安心できるまち) (大適で暮らしやすい住宅環 (安心できるまち) (安心できるまち) (安心できるまち) (安心できるまち) (安心できるまち) (大適・進学・買い物などの日常生活の便利さ (安心できるまち) (安心できるまち) (大適・進学・買い物などの日常生活の便利さ (安心できるまち) (安心できるまち) (大適・大海・山・川などの豊かな自 (大力があふれるまち) (安心できるまち) (大力があふれるまち) (大力があるれるまち) (大力があるれるなれるなん) (大力があるれるなん) (大力があるれるなん) (大力があるれるなん) (大力があるれるなん) (大力があるれるなん) (大力があるなん) (い住宅環
30~39歳 (n=98) 然環境 (m=98) 【魅力があふれるまち】 (整力があふれるまち】 (要心できるまち】 (事力があふれるまち】 (事力があるれるまち】 (事力があるれるまち】 (事力があるれるまち】 (事力があるれるまち】 (事力があるれるまち】 (事力があるれるまち】 (事力があるれるまち】 (事力があるれるまち】 (事力があるれるまち) (事力があるれるまち) (事力があるれるまち) (事力があるれるまち) (事力があるれるまた) (事力があるれる) (事力があるれるまた) (事力があるれる) (事力があるれる) (事力がある) (事	
(n=98) 【魅力があふれるまち】 【魅力があふれるまち】 【安心できるまち】 【を小できるまち】 (本本できるまち】 (本本できるまち】 (本本できるまち】 (本本できるまち】 (本本できるまち】 (本本できるまち】 (本本できるまち) (本本できる) (本本で	
70.4% 39.8% 37.7% 36.7% 36.7% 36.7% 40~49歳 (n=104) 【魅力があふれるまち】 「安心できるまち】 「安心できるまち】 「安心できるまち】 「安心できるまち】 「安心できるまち】 「安心できるまち】 「安心できるまち】 「大田・川などの豊かな自 たまちなみの美しさ 39.5% 36.5% 1 (産業が元 第3)	きろ士た 1
**(n=104) *海・山・川などの豊かな自然環境 ・通勤・通学・買い物などの 技力 ・快適で暮らしやすい住宅環・基幹道路や生活道路の充・まちなみの美しさまた。 ・まちなみの美しさまた。 【魅力があふれるまち】 【安心できるまち】 【安心できるまち】 【安心できるまち】 【魅力があふるまち】 【魅力があふるまち】 【を乗が元・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 【安心できるまち】 【企業が元・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 【安心できるまち】 【を乗が元・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 【安心できるまち】 【ないできるまち】 【を乗が元・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 【ないできるまち】 【ないできるまち】 【を乗が元・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【ないできるまち】 【ないできるまち】 【ないできるまち】 【を乗が元・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【ないでもるまち】 【ないできるまち】 【ないできるまち】 【を乗が元・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【ないできるまち】 【ないできるまち】 【ないできるまち】 【をかたるまち】 【ないできるまち】 【をかたるまち】 【をかたるまち】 「ないできるまち】 【をかたるまち】 【をかたるまち】 「ないできるまち】 【を表が元・通知・過去を表しる。 「ないできるまち】 【を表が元・通知・過去を表しる。 「ないできるまち】 「ないできるまち】 「ないできるまち】 「ないできるまち】 「ないできるまち】 「ないできるまち】 「ないできるまち】 「ないできるまち】 「ないできるまち】 「ないできるまたる」 「ないできるときるまたる」 「ないできるまたる」 「ないできるまたる」 「ないできるときる」 「ないできるときる」 <td< td=""><td>35.8%</td></td<>	35.8%
40~49歳 (n=104) 然環境 【魅力があふれるまち】 68.2% 日常生活の便利さ 【安心できるまち】 68.2% 「安心できるまち】 44.2% 【安心できるまち】 39.5% 【安心できるまち】 39.5% 【魅力があふ 36.5% ・海・山・川などの豊かな自 50~59歳 (n=139) ・まちなみの美しさ ※環境 ・観光地としての魅力 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 (安心できるまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 (安心できるまち】	
(n=104) 【魅力があふれるまち】 【安心できるまち】 【安心できるまち】 【安心できるまち】 【野心できるまち】 【魅力があふる。 68.2% 44.2% 39.5% 36.5% 36.5% 【歴業が元 50~59歳 (n=139) *環境 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 【安心できるまち】 【安心できるまち】 【変心できるまち】 【変心できるまち】 「産業が元 1 *週・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 【安心できるまち】 「安心できるまち】 「な動・通学・買い物などの日常生活の便利さ」 【安心できるまち】 1 *週・消防・救急救助の体制 *週・消防・救急救助の体制 「ないできるまち」 「ないできるまち」 2 ** ** ** * <td< td=""><td></td></td<>	
・海・山・川などの豊かな自 50~59歳 (n=139) ・まちなみの美しさ 然環境 ・観光地としての魅力 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・消防・救急救助の体制 【産業が元 ・運動・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・消防・救急救助の体制	れるまち】
50~59歳 (n=139)然環境 <td・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ< td="">【安心で【魅力があふれるまち】【魅力があふれるまち】・消防・救急救助の体制【安心で69.1%34.6%</td・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ<>	34.7%
50~59歳	気なまち】
69.1% 34.6%	きるまち】
	きるまち】
左 山、川かじの曲かか白 「客株 客労 買い焼かじの」 林笠で草と 「カナントウ煙棒 「「ウェーナフナナ」 知火地 ローマの	31.0%
	力
大環境 日常生活の便利さ ・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 【産業が元	気なまち】
	カリサイク
(n=181)	
61.9% 37.0% 【魅力があふ	れるまち】
V1.5%	
・海・山・川などの豊かな自 ・消防・救急救助の体制 ・医療・保健サービス ・通勤・通学・買い物などの ・ごみ減量や資源	
70~79歳 然環境 日常生活の便利さ ル	29.3%
「(n=201)	29.3%
53.8% 39.8% 35.8% 34.3%	29.3% Dリサイク
・海・山・川などの豊かな自然環境 ・医療・保健サービス ・消防・救急救助の体制 ・快適で暮らしやす	29.3% Dリサイク
	29.3% カリサイク れるまち】 32.3%
(n=66) ・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 【安心できるまち】 【安心できるまち】	29.3% カリサイク れるまち】 32.3%
42.4% 37.9% 36.4%	29.3% カリサイク れるまち】 32.3%

<年代別不満度>

不満度の上位5位の項目について年代別でみると、「18~19歳」のみ「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」が1位となっており、他の年代では「中心市街地の活気」が1位となっている。2位は、「40~79歳」では「雇用対策や労働環境の充実」、「80歳以上」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」となっている。

【不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた合計】

【不満度()	非常に不満」と「不満」を合わせ	<u>せた合計】</u>			
	1位	2位	3位	4位	5位
	通勤・通学・買い物などの	・公共交通の総合的なサービ	え	【安心できるまち】	
18~19歳	日常生活の便利さ	NPOやボランティアなどの市	「民活動への参加の機会	【安心できるまち】	
(n=8)	【安心できるまち】	・市政に対する市民参加のし	やすさ	【その他】	
	75.0%			37.5%	
	・中心市街地の活気	雇用対策や労働環境の充実	€	【産業が元気なまち】	・地震や風水害などの災害
20~29歳		・通勤・通学・買い物などの日	1常生活の便利さ	【安心できるまち】	に対する安全性
(n=49)	【魅力があふれるまち】	・公共交通の総合的なサービ	え	【安心できるまち】	【安心できるまち】
	57.2%			46.9%	38.8%
	・中心市街地の活気	雇用対策や労働環境の充実		・公園や下水道などの生活	・地震や風水害などの災害
			【産業が元気なまち】	環境の充実 	に対する安全性
30~39歳 (n=98)	【魅力があふれるまち】	・公共交通の総合的なサービ	え	【安心できるまち】	【安心できるまち】
(11 00)	50.0%		【安心できるまち】	41.8%	39.8%
			47.0%		
	中心市街地の活気	・雇用対策や労働環境の充			・公園や下水道などの生活
40~49歳 (n=104)	【魅力があふれるまち】	実	ビス 【安心できるまち】	に対する安全性 【安心できるまち】	環境の充実 【安心できるまち】
(n-104)	72.1%		50.9%	47.1%	41.4%
	・中心市街地の活気	雇用対策や労働環境の充	・公共交通の総合的なサー	・通勤・通学・買い物などの	・基幹道路や生活道路の充
50~59歳		実	ビス	日常生活の便利さ	実
(n=139)	【魅力があふれるまち】	【産業が元気なまち】 	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】
	68.4%		43.9%		38.8%
	・中心市街地の活気	・雇用対策や労働環境の充 実	・公共交通の総合的なサービス	・公園や下水道などの生活 環境の充実	・介護保険や年金・国民健 康保険などの社会保障サー
60~69歳	【魅力があふれるまち】	天 【産業が元気なまち】	【安心できるまち】		
(n=181)	64.1%	52.5%	49.1%		【安心できるまち】
		52.5%		00.0%	39.7%
	中心市街地の活気	雇用対策や労働環境の充	・公共交通の総合的なサー		・通勤・通学・買い物などの
70~79歳	「蛀土がたこれてナナ】	実	ビス 【中心でも7.++】	環境の充実	日常生活の便利さ
(n=201)	【魅力があふれるまち】		【安心できるまち】		【安心できるまち】
	59.7%		34.4%	32.4%	28.4%
on告니 F	・中心市街地の活気	・通勤・通学・買い物などの 日常生活の便利さ	・雇用対策や労働環境の充 実	・公共交通の総合的なサービス	・公園や下水道などの生活 環境の充実
80歳以上 (n=66)	【魅力があふれるまち】		【産業が元気なまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】
	37.8%	31.8%	28.8%	27.3%	24.2%
	•				

注:18~19歳については回答数が少なく、5位は同率項目が11項目あるため省略している。

<地域別満足度>

満足度の上位5位の項目について地域別でみると、いずれの地域も1位は「海・山・川などの豊かな自然環境」となっている。2位は、「中心部」では「消防・救急救助の体制」、「南部」では「快適で暮らしやすい住宅環境」、「東部」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」と「消防・救急救助の体制」、「東南部」では「観光地としての魅力」、「河西部」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「河北部」では「医療・保健サービス」となっている。

また、「東南部」は他の地域に比べ「観光地としての魅力」の満足度が高くなっている。

【満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた合計】

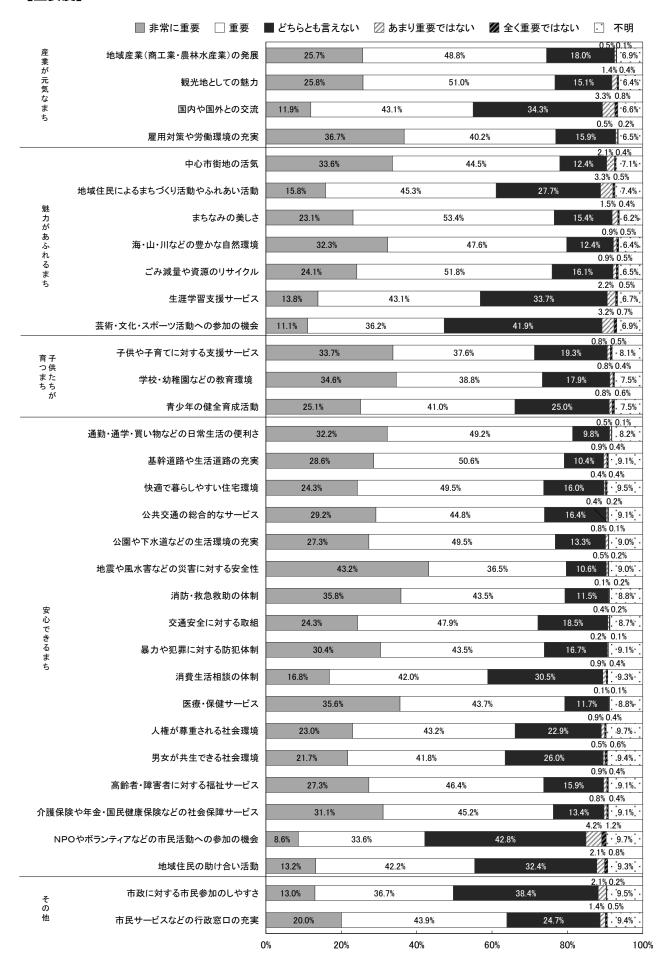
【満足度()	非常に満足」と「満足」を合わせ	た合計】			
	1位	2位	3位	4位	5位
中心部	・海・山・川などの豊かな自然環境	・消防・救急救助の体制	・通勤・通学・買い物などの 日常生活の便利さ	・快適で暮らしやすい住宅環境	• 医療・保健サービス
(n=207)	【魅力があふれるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】
	61.8%	39.6%	39.2%	38.6%	36.7%
南部	・海・山・川などの豊かな自然環境	・快適で暮らしやすい住宅環境	・通勤・通学・買い物などの 日常生活の便利さ	・基幹道路や生活道路の充 実	・消防・救急救助の体制
(n=99)	【魅力があふれるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】
	70.7%	46.5%	42.5%	39.4%	37.3%
		・通勤・通学・買い物などの日	常生活の便利さ	まちなみの美しさ	・観光地としての魅力
	然環境		【安心できるまち】		【産業が元気なまち】
東部 (n=116)	【魅力があふれるまち】	・消防・救急救助の体制	【安心できるまち】	【魅力があふれるまち】	医療・保健サービス
(11–110)	63.8%		32.8%	31.9%	【安心できるまち】
					31.0%
	・海・山・川などの豊かな自然環境	・観光地としての魅力	・消防・救急救助の体制	医療・保健サービス	・ごみ減量や資源のリサイクル
		【産業が元気なまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	F 1 134 5 1 7 4 1 7
東南部 (n=79)	64.5%	36.7%	31.7%	31.6%	・基幹道路や生活道路の充 実
					【安心できるまち】
					30.4%
河西部	・海・山・川などの豊かな自 然環境	・通勤・通学・買い物などの 日常生活の便利さ	・消防・救急救助の体制	・快適で暮らしやすい住宅環境	・まちなみの美しさ
(n=212)	【魅力があふれるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【魅力があふれるまち】
	59.4%	37.7%	33.0%	31.1%	29.7%
	・海・山・川などの豊かな自	医療・保健サービス	ごみ減量や資源のリサイク。	ル	・基幹道路や生活道路の充
河北部	然環境			【魅力があふれるまち】	実
(n=94)	【魅力があふれるまち】	【安心できるまち】	・快適で暮らしやすい住宅環	境 【安心できるまち】	【安心できるまち】
	61.7%	34.1%		31.9%	28.7%

<地域別不満度>

不満度の上位5位の項目について地域別でみると、いずれの地域も1位は「中心市街地の活気」と なっている。2位は、「中心部」、「南部」、「東部」、「河西部」では「雇用対策や労働環境の充実」、「東 南部」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「河北部」では「公共交通の総合的なサ ービス」となっている。

【不満度(「	非常に不満」と「不満」を合わせ	さた合計】			
	1位	2位	3位	4位	5位
	・中心市街地の活気	・雇用対策や労働環境の充 実	・公共交通の総合的なサービス	・観光地としての魅力	・通勤・通学・買い物などの 日常生活の便利さ
	【魅力があふれるまち】	【産業が元気なまち】	【安心できるまち】	【産業が元気なまち】	【安心できるまち】
中心部 (n=207)	64.7%	48.3%	42.0%	34.3%	・地震や風水害などの災害 に対する安全性
					【安心できるまち】
	1 > 4-11 - 17		A =# /D #A . / L A . / D . D . / D		33.8%
	・中心市街地の活気 	・雇用対策や労働環境の充 実	・介護保険や年金・国民健 康保険などの社会保障サー	・地震や風水害などの災害 に対する安全性	・公共交通の総合的なサー ビス
南部 (n=99)	【魅力があふれるまち】	【産業が元気なまち】	ヒス	【安心できるまち】	【安心できるまち】
(11-99)	56.6%	46.5%	【安心できるまち】	33.3%	28.3%
			33.4%		
東部	・中心市街地の活気	・雇用対策や労働環境の充 実	・公共交通の総合的なサービス	・公園や下水道などの生活 環境の充実	・基幹道路や生活道路の充実
(n=116)	【魅力があふれるまち】	【産業が元気なまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】
	62.9%	45.7%	44.9%	44.0%	42.3%
	・中心市街地の活気	・通勤・通学・買い物などの		雇用対策や労働環境の充実	E
		日常生活の便利さ	ビス		【産業が元気なまち】
東南部	【魅力があふれるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	・公園や下水道などの生活環	環境の充実
(n=79)	62.0%	57.0%	48.1%		【安心できるまち】
					44.3%
河西部	・中心市街地の活気	・雇用対策や労働環境の充 実	・公共交通の総合的なサービス	・公園や下水道などの生活 環境の充実	・地震や風水害などの災害 に対する安全性
(n=212)	【魅力があふれるまち】	【産業が元気なまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】
	58.0%	45.2%	43.3%	34.9%	31.1%
河北部	・中心市街地の活気	・公共交通の総合的なサービス	・雇用対策や労働環境の充 実	・公園や下水道などの生活 環境の充実	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ
(n=94)	【魅力があふれるまち】	【安心できるまち】	【産業が元気なまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】
	60.7%	44.7%	43.6%	40.4%	38.3%

【重要度】



【重要度】

<全体>

和歌山市の取組の重要度(「非常に重要」と「重要」の合計)の上位5項目は順に、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」(81.4%)、「海・山・川などの豊かな自然環境」(79.9%)、「地震や風水害などの災害に対する安全性」(79.7%)、「消防・救急救助の体制」(79.3%)、「医療・保健サービス」(79.3%)となっている。"安心できるまち"、"魅力があふれるまち"に関する項目の重要度が高い傾向にある。

【重要度(「非常に重要」と「重要」を合わせた合計】

	7 11 1 2 2 3 C 1 2 2 3 C C 1 1 7 C				
	1位	2位	3位	4位	5位
		・海・山・川などの豊かな自 然環境	・地震や風水害などの災害に対する安全性	・消防・救急救助の体制	【安心できるまち】
±144 (n=849)	【安心できるまち】	【魅力があふれるまち】	【安心できるまち】	医療・保健サービス	【安心できるまち】
	81.4%	79.9%	79.7%		79.3%

<男女別>

重要度の上位5位の項目について男女別でみると、いずれも1位は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」となっている。「男性」では「海・山・川などの豊かな自然環境」、「基幹道路や生活道路の充実」が同率1位となっている。女性では2位以降は「地震や風水害などの災害に対する安全性」、「医療・保健サービス」などの"安心できるまち"、"魅力があふれるまち"に関する項目が占める結果となっている。また、「男性」では5位に「雇用対策や労働環境の充実」(80.3%)が入っている。

【重要度(「非常に重要」と「重要」を合わせた合計】

1 エスス・ハーバ	C王女] C. 王女] Cロリノヒ/こ	HIZ			
	1位	2位	3位	4位	5位
	・海・山・川などの豊かな自然	環境	【魅力があふれるまち】	中心市街地の活気	・雇用対策や労働環境の充
男性	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ		【安心できるまち】		実
(n=366)	・基幹道路や生活道路の充実		【安心できるまち】	【魅力があふれるまち】	【産業が元気なまち】
			81.7%	80.6%	80.3%
		・地震や風水害などの災害	医療・保健サービス	消防・救急救助の体制	・海・山・川などの豊かな自
女性	日常生活の便利さ	に対する安全性			然環境
(n=467)	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【魅力があふれるまち】
	81.4%	79.6%	78.8%	78.6%	78.5%

<年代別>

重要度の上位5位の項目について年代別でみると、1位は「40~49歳」では「地震や風水害などの 災害に対する安全性」、「50~59歳」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「60~69歳」では「医療・保健サービス」、「70~79歳」では「ごみ減量や資源のリサイクル」となっている。 2位については、「40~49歳」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「50~59歳」では「地震や風水害などの災害に対する安全性」、「70~79歳」では「海・山・川などの豊かな自然環境」となっている。

【重要度(「非常に重要」と「重要」を合わせた合計】

【重要度()非常	に重要」と「重要」を合わせたか	<u> </u>		1	
	1位	2位	3位	4位	5位
	・公共交通の総合的なサービ	[ス 【安心できるまち】	・消防・救急救助の体制	・雇用対策や労働環境の充	
20~29歳	・地震や風水害などの災害に	対する安全性		実	日常生活の便利さ
(n=49)		【安心できるまち】	【安心できるまち】	【産業が元気なまち】	【安心できるまち】
		89.8%	87.8%	87.7%	85.8%
	・学校・幼稚園などの教育環	境		・子供や子育てに対する支	・地震や風水害などの災害
30~39歳	・通勤・通学・買い物などの日	1常生活の便利さ	【安心できるまち】	援サ ー ビス	に対する安全性
(n=98)	・基幹道路や生活道路の充実	₹	【安心できるまち】	【子供たちが育つまち】	【安心できるまち】
			84.7%	83.7%	82.7%
	・地震や風水害などの災害	・通勤・通学・買い物などの	雇用対策や労働環境の充実	<u> </u>	・海・山・川などの豊かな自
	に対する安全性	日常生活の便利さ		【産業が元気なまち】	然環境
40~49歳	【安心できるまち】	【安心できるまち】	・基幹道路や生活道路の充乳		【魅力があふれるまち】
(n=104)	89.4%	88.5%		【安心できるまち】	85.5%
			86.5%		
	・通勤・通学・買い物などの	・地震や風水害などの災害	消防・救急救助の体制	海・山・川などの豊かな自	まちなみの美しさ
	日常生活の便利さ	に対する安全性		然環境	【魅力があふれるまち】
50~59歳 (n=139)	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【魅力があふれるまち】	医療・保健サービス
(n=139)	87.8%	87.0%	84.9%	83.5%	【安心できるまち】
					83.4%
	・医療・保健サービス	・通勤・通学・買い物などの目	常生活の便利さ	・介護保険や年金・国民健	
		・消防・救急救助の体制		【安心できるまち】	康保険などの社会保障サー ビス
60~69歳 (n=181)	【安心できるまち】	・高齢者・障害者に対する福	祉サービス	【安心できるまち】	
(11–101)	88.4%			86.2%	【安心できるまち】
					85.6%
	ごみ減量や資源のリサイク		中心市街地の活気	・基幹道路や生活道路の充	
70~79歳	ル 【魅力があふれるまち】	然環境 【魅力があふれるまち】	【魅力があふれるまち】	実 【安心できるまち】	日常生活の便利さ 【安心できるまち】
(n=201)					
	78.6%・観光地としての魅力	76.6% 【産業が元気なまち】	76.1%		74.1% ・海・山・川などの豊かな自
					・海・山・川などの豊かな日 然環境
	・中心市街地の活気		・通勤・通学・買い物などのE		
80歳以上		57.6%		【安心できるまち】	
(n=66)				57.5%	・ごみ減量や資源のリサイクル
					【魅力があふれるまち】
					56.1%

注:18~19歳については回答数が少なく、1位は同率項目が13項目あるため省略している。

<地域別>

重要度の上位5位の項目について地域別でみると、1位は「中心部」及び「河西部」では「地震や 風水害などの災害に対する安全性」、「南部」では「まちなみの美しさ」、「東部」及び「河北部」では 「基幹道路や生活道路の充実」、「東南部」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」とな っている。2位については、「中心部」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「東部」 では「医療・保健サービス」、「東南部」では「観光地としての魅力」、「河西部」では「海・山・川な どの豊かな自然環境」となっている。

【重要度(「	【重要度(「非常に重要」と「重要」を合わせた合計】							
	1位	2位	3位	4位	5位			
中心部	・地震や風水害などの災害 に対する安全性	・通勤・通学・買い物などの 日常生活の便利さ	・消防・救急救助の体制	・海・山・川などの豊かな自 然環境	・医療・保健サービス			
(n=207)	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【魅力があふれるまち】	【安心できるまち】			
	83.5%	82.1%	81.7%	81.1%	79.7%			
	・まちなみの美しさ	・中心市街地の活気	【魅力があふれるまち】	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ	・基幹道路や生活道路の充実			
南部		・海・山・川などの豊かな自然	環境	日市主角の技術で	*			
(n=99)	【魅力があふれるまち】	【魅力があふれるまち】		【安心できるまち】	【安心できるまち】			
	87.8%		86.9%	85.8%	84.8%			
	・基幹道路や生活道路の充	医療・保健サービス	・通勤・通学・買い物などの	・観光地としての魅力	【産業が元気なまち】			
	実 日常生活の便利さ		日常生活の便利さ	雇用対策や労働環境の充実	美			
→ → n	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】		【産業が元気なまち】			
東部 (n=116)	87.1%	85.4%	84.5%	・地震や風水害などの災害に	対する安全性			
(11 110)					【安心できるまち】			
				・消防・救急救助の体制	【安心できるまち】			
					81.0%			
	・通勤・通学・買い物などの 日常生活の便利さ	・観光地としての魅力	・基幹道路や生活道路の充 実	・消防・救急救助の体制	・海・山・川などの豊かな自 然環境			
東南部	【安心できるまち】	【産業が元気なまち】	【安心できるまち】	【安心できるまち】	【魅力があふれるまち】			
(n=79)	84.8%	79.8%	79.7%	78.5%	・医療・保健サービス			
					【安心できるまち】			
					78.4%			
		・海・山・川などの豊かな自	・通勤・通学・買い物などの	・消防・救急救助の体制	【安心できるまち】			
河西部	に対する安全性	然環境	日常生活の便利さ	医療・保健サービス	【安心できるまち】			
(n=212)	【安心できるまち】	【魅力があふれるまち】	【安心できるまち】		78.3%			
	80.2%	79.3%	78.8%	j				
		・通勤・通学・買い物などの日	常生活の便利さ	雇用対策や労働環境の充実	美			
	実		【安心できるまち】	【産業が元気なまち】				
	【安心できるまち】	・医療・保健サービス 【安心できるまち】		・地震や風水害などの災害に対する安全性				
河北部	79.8%	79.8%		1				
(n=94)				・介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス				
					【安心できるまち】			
					77.7%			

【満足度:前年度の比較】

令和5年度と令和4年度の満足度の変化については、33項目中6項目で満足度が1.0ポイント以上増加する結果となっている。中でも「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」では7.0ポイント増加している。

不満度の変化については、33 項目中 30 項目で不満度が 1.0 ポイント以上増加する結果となっている。特に「公共交通の総合的なサービス」では 7.1 ポイント増加しており、「国内や国外との交流」、「高齢者・障害者に対する福祉サービス」でも 6.0 ポイント以上増加している。

満足度増加ポイント (R5満足度%-R4満足度%) 0.0 -0.5 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 -1.5 まが 観光地としての魅力 ち元 -1.2 国内や国外との交流 気な -0.6 雇用対策や労働環境の充実 -0.8 中心市街地の活気 鮇 -0.8 地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動 力が 1.9 まちなみの美しさ あ -0.6 5 海・山・川などの豊かな自然環境 ħ 0.3 る ごみ減量や資源のリサイクル ŧ -1.0 生涯学習支援サービス -2.3 芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会 ー 育供 -2.9 子供や子育てに対する支援サービス つまちいたちが -3.6 学校・幼稚園などの教育環境 -3.0 **■** 青少年の健全育成活動 70 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 2.8 基幹道路や生活道路の充実 3.2 快適で暮らしやすい住宅環境 0.2 公共交通の総合的なサービス -0.2 公園や下水道などの生活環境の充実 -1.5 地震や風水害などの災害に対する安全性 1.0 消防・救急救助の体制 心 0.9 交通安全に対する取組 で -2.2 きる 暴力や犯罪に対する防犯体制 -1.4 消費生活相談の体制 -0.6 医療・保健サービス -4.1 人権が尊重される社会環境 -1.5 男女が共生できる社会環境 -1.3 高齢者・障害者に対する福祉サービス 1.4 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス -1.6 NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会 -2.2 地域住民の助け合い活動 -1 1 市政に対する市民参加のしやすさ -0.1 他 市民サービスなどの行政窓口の充実

5.7 29 6. 3.9 1.6 4 8 5.1 3.6 24 3.1 2.1 44 5.6 5.3 3.1 1.5 -Ó 4 5.9 0.1 24 2.0 3.1 12 30 2.9 3.4 1.7 2.5 29 0.2

不満度増加ポイント

(R5不満度%-R4不満度%)

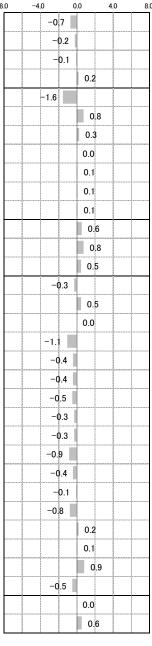
【重要度:前年度の比較】

令和5年度と令和4年度の重要度の変化については、33項目中26項目で重要度が1.0ポイント以上増加する結果となっている。中でも「中心市街地の活気」、「地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動」、「まちなみの美しさ」、「生涯学習支援サービス」では4.0ポイント以上増加している。

非重要度(「あまり重要ではない」と「全く重要ではない」の合計)の変化については、いずれの項目も 2.0 ポイント未満の増減に留まっている。

重要度増加ポイント (R5重要度%-R4重要度%) 非重要度増加ポイント (R5非重要度%-R4非重要度%)

		-8.0	-4.0	0.0	4.0	8.0	-8.0	-4.0
産業	地域産業(商工業・農林水産業)の発展				2.2	menen		
まが元気な	観光地としての魅力	100000		0.8		2000		
	国内や国外との交流			0.8		n.en.en.en		
	雇用対策や労働環境の充実			1	.7			
魅力があふれるまち	中心市街地の活気				4.8			-1
	地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動				4.1			
	まちなみの美しさ				4.7	****		
	海・山・川などの豊かな自然環境			2	2.1			
	ごみ減量や資源のリサイクル				3.3			
	生涯学習支援サービス		ļļ		4.0			
	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会			0.2				
育供った	子供や子育てに対する支援サービス				3.3	***		
つまちが	学校・幼稚園などの教育環境			1	.8			
ちが	青少年の健全育成活動			1.	5			
	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ				2.2	nananan.		
	基幹道路や生活道路の充実			1	.8			
	快適で暮らしやすい住宅環境		+1.7		_	nananan		
	公共交通の総合的なサービス				3.3			-
	公園や下水道などの生活環境の充実		ļļ		3.8	0000		
	地震や風水害などの災害に対する安全性			2	2.0			
安、	消防・救急救助の体制				3.0	nananan		
心で	交通安全に対する取組			1	.9			
きる	暴力や犯罪に対する防犯体制		ļļļ	0.6				
まち	消費生活相談の体制		ļl		2.1	***		
	医療・保健サービス				2.1			
	人権が尊重される社会環境				2.5			
	男女が共生できる社会環境			- 2	2.1			
	高齢者・障害者に対する福祉サービス				2.8			
	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス		ļ	2	2.1	0000		
	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会				2.4	~~~		
	地域住民の助け合い活動	_	-0.2			4		
その	市政に対する市民参加のしやすさ			0.2	_			
他	市民サービスなどの行政窓口の充実			1.	6			



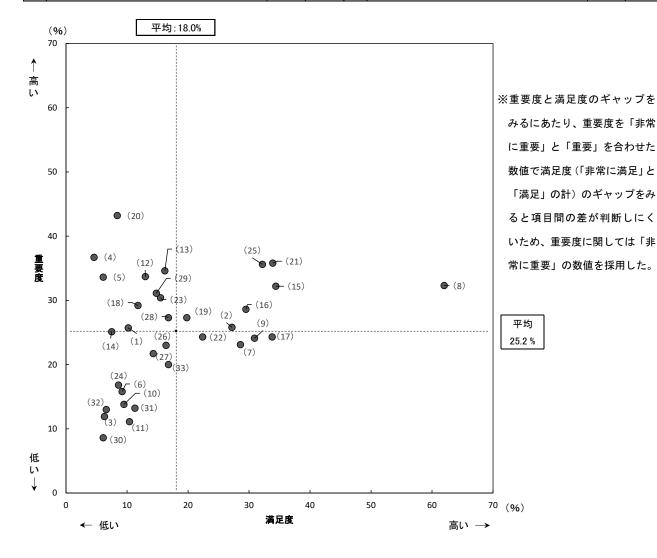
【重要度と満足度ギャップ分析 (ポートフォリオ)】

「重要度(「非常に重要」の比率)」と「満足度(「非常に満足」と「満足」の合計)」との関係を散布図に表した。図の横軸は満足度、縦軸は重要度を表している。

重要度が平均よりも高く、満足度が平均よりも低い項目は、ギャップの大きい順にみると、「(20) 地震や風水害などの災害に対する安全性」、「(4) 雇用対策や労働環境の充実」、「(5) 中心市街地の活気」、「(12) 子供や子育てに対する支援サービス」、「(13) 学校・幼稚園などの教育環境」、「(18) 公共交通の総合的なサービス」、「(29) 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」、「(1) 地域産業(商工業・農林水産業)の発展」、「(23) 暴力や犯罪に対する防犯体制」、「(28) 高齢者・障害者に対する福祉サービス」の10項目となっており、早急に対策が求められている結果となっている。

満足度が重要度を10ポイント以上上回る項目は「(8)海・山・川などの豊かな自然環境」の1項目となっている。

凡例	項目名	満足度計	重要度	(17)	快適で暮らしやすい住宅環境	33.8	24.3
(1)	地域産業(商工業・農林水産業)の発展	10.2	25.7	(18)	公共交通の総合的なサービス	11.8	29.2
(2)	観光地としての魅力	27.2	25.8	(19)	公園や下水道などの生活環境の充実	19.8	27.3
(3)	国内や国外との交流	6.3	11.9	(20)	地震や風水害などの災害に対する安全性	8.4	43.2
(4)	雇用対策や労働環境の充実	4.6	36.7	(21)	消防・救急救助の体制	33.9	35.8
(5)	中心市街地の活気	6.1	33.6	(22)	交通安全に対する取組	22.4	24.3
(6)	地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動	9.2	15.8	(23)	暴力や犯罪に対する防犯体制	15.5	30.4
(7)	まちなみの美しさ	28.6	23.1	(24)	消費生活相談の体制	8.6	16.8
(8)	海・山・川などの豊かな自然環境	62.0	32.3	(25)	医療・保健サービス	32.2	35.6
(9)	ごみ減量や資源のリサイクル	30.9	24.1	(26)	人権が尊重される社会環境	16.4	23.0
(10)	生涯学習支援サービス	9.5	13.8	(27)	男女が共生できる社会環境	14.3	21.7
(11)	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会	10.4	11.1	(28)	高齢者・障害者に対する福祉サービス	16.8	27.3
(12)	子供や子育てに対する支援サービス	13.0	33.7	(29)	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	14.8	31.1
(13)	学校・幼稚園などの教育環境	16.2	34.6	(30)	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	6.1	8.6
(14)	青少年の健全育成活動	7.5	25.1	(31)	地域住民の助け合い活動	11.3	13.2
(15)	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ	34.4	32.2	(32)	市政に対する市民参加のしやすさ	6.6	13.0
(16)	基幹道路や生活道路の充実	29.5	28.6	(33)	市民サービスなどの行政窓口の充実	16.8	20.0

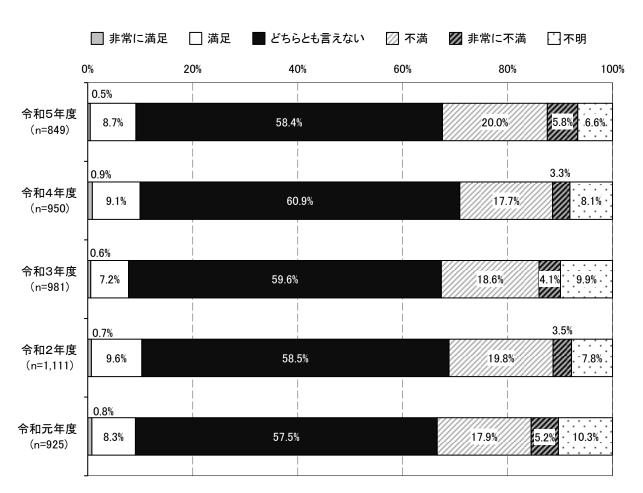


【満足度・不満度の指標の推移】

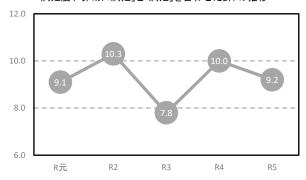
<地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画*」において、「めざす 10 年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は減少し、不満度は増加している。目標値の達成に向けて、地域住民と連携し、自主的な活動を安定的に実施できるよう支援に努めるとともに、魅力的なまちづくりやその担い手づくりを推進していく必要があると思われる。

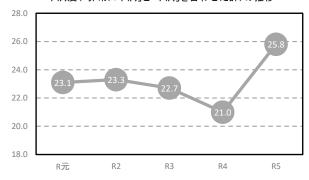








不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移

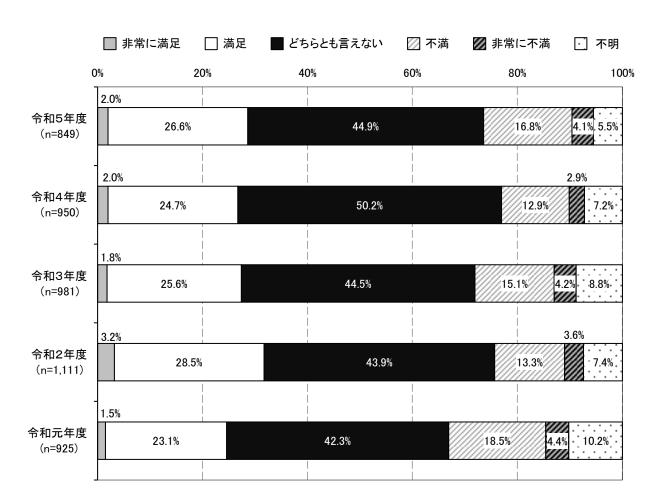


^{※「}第5次和歌山市長期総合計画」とは、平成29年度から令和8年度までのまちづくりの方向性を示すもので、各種個別計画や事業はこの計画に基づいて策定・実施されています。

くまちなみの美しさ>

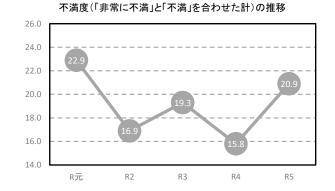
この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は増加しているが、不満度も増加している。新たな景観拠点の創出や、地域の優れた景観を保全、活用する景観まちづくりを支援するとともに、その仕組みづくりの強化を図る必要があると思われる。

満足度目標値 (令和8年度) 33.0%



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移

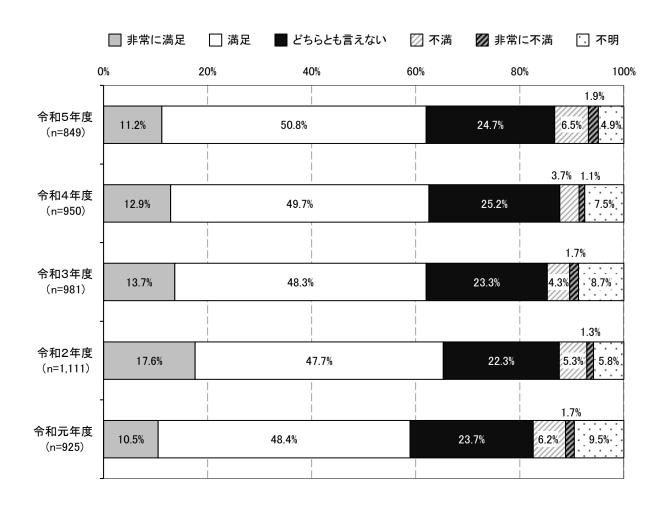
34.0
32.0
31.7
30.0
28.0
26.0
24.0
R元 R2 R3 R4 R5



<海・山・川などの豊かな自然環境>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は減少したものの、目標値である60.0%を超え、達成となっている。一方で不満度は増加しており、今後もさらに市民や事業者の環境保全意識を向上させ、環境にやさしい生活や事業が行われるよう、啓発活動や情報提供等を通じて、環境づくりに引き続き努めていく必要があると思われる。

港口在口插店	(令和8年度)		
満足度目標値	60.0%		



 68.0
 68.0

 66.0
 65.3

 64.0
 62.0

 60.0
 62.0

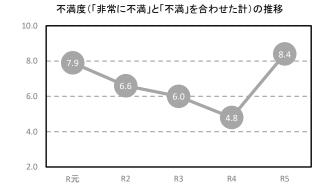
 58.0
 68.0

 758.0
 758.0

 87
 82

 83
 84

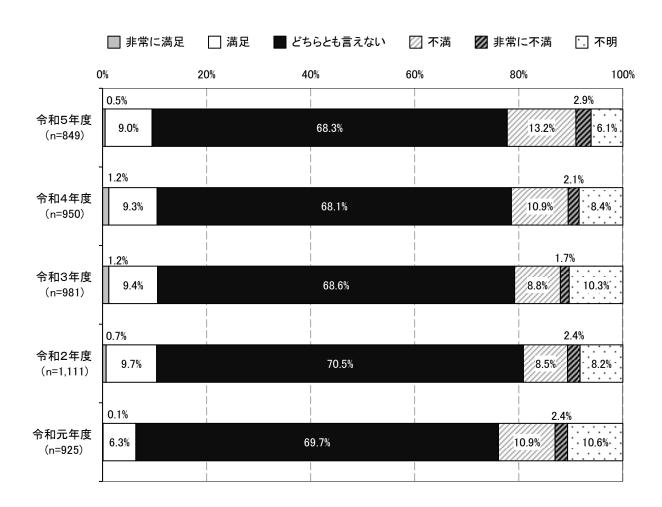
 85

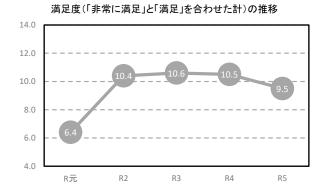


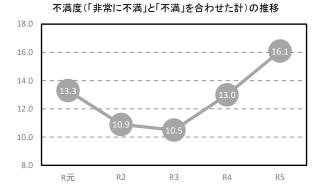
<生涯学習支援サービス>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は減少し、不満度は増加している。目標値の達成に向けて、幅広い世代に学びの機会を提供し、課題解決の支援の充実を行っていくほか、より質の高いサービスの提供に努めることが必要であると思われる。

満足度目標値 (令和8年度) 17.7%

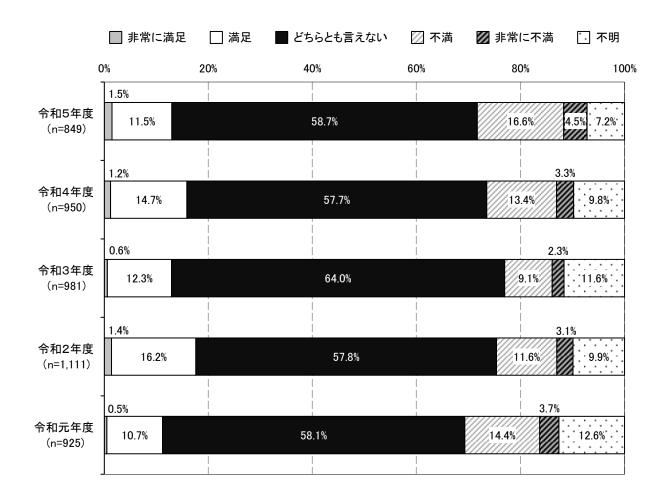


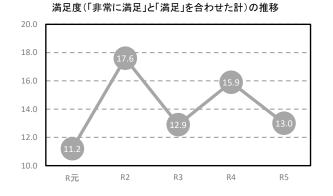


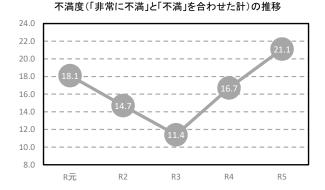


<子供や子育てに対する支援サービス>

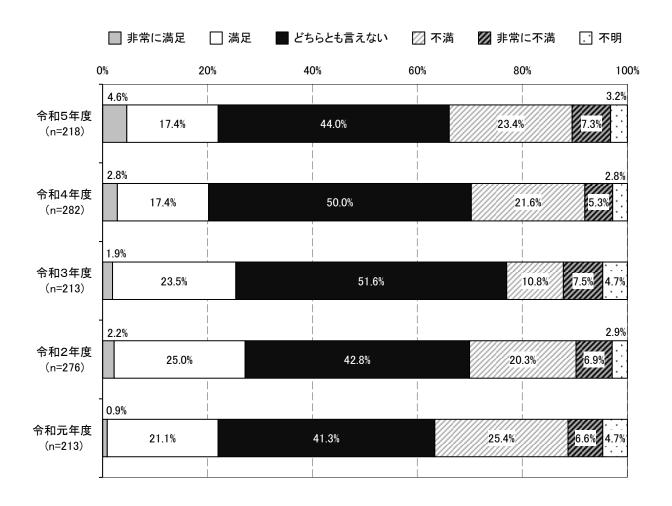
全体の回答では、満足度は減少し、不満度は増加している。 O ~14 歳のお子様がいる方においては、満足度は増加しているが、不満度も増加している。引き続き、より安心して子供を生み育てることのできる環境の整備に努めていく必要があると思われる。

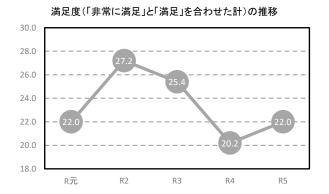


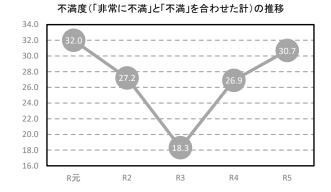




【0~14歳のお子様がいる方のみの回答】



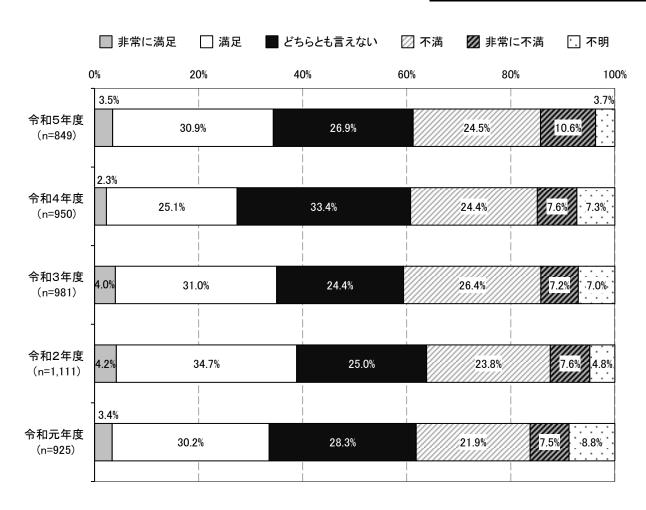


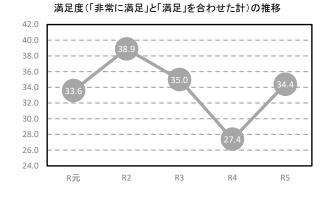


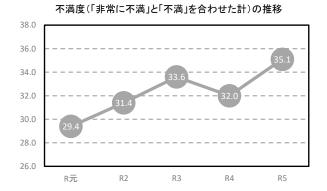
<通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は増加しているが、不満度も増加している。不満度の減少を目指すと同時に目標値を達成する必要がある。今後は、より中心市街地の活性化を図るとともに、コンパクトで便利なまちを形成するため、駅や小学校周辺などの生活拠点に住居と日常生活に必要な機能の緩やかな誘導を図る必要があると思われる。

満足度目標値 (令和8年度) 35.5%



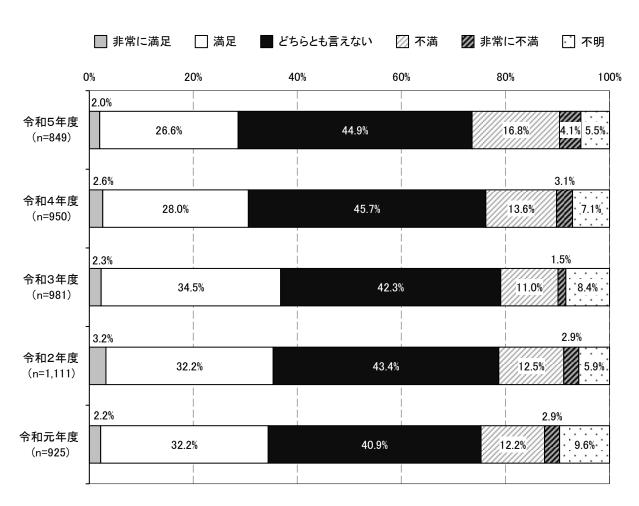


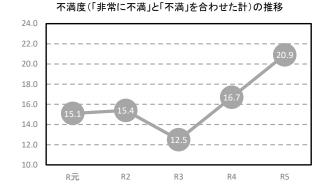


<快適で暮らしやすい住宅環境>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は減少し、不満度は増加している。目標値の達成に向けて、良質な住宅や良好な宅地の確保に向け、空き家の適正管理・除去や利活用を促進するとともに、老朽市営住宅の建替え・景観改善・住環境改善を計画的に進める必要があると思われる。



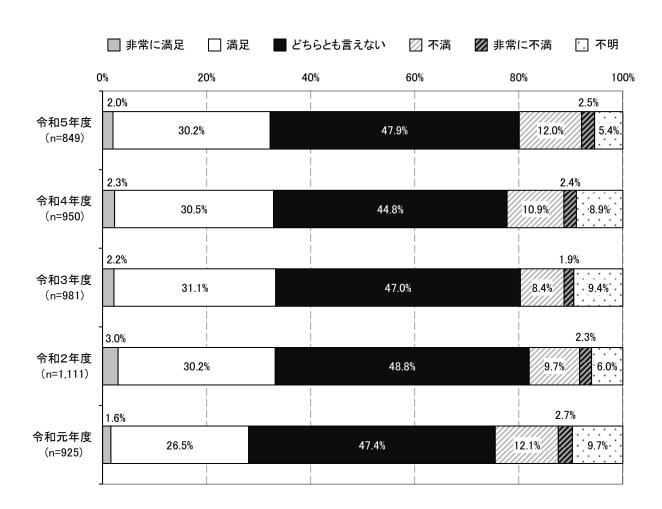


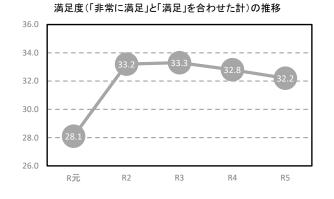


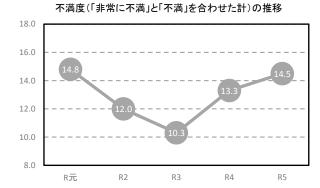
<医療・保健サービス>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は減少し、不満度は増加している。目標値の達成に向けて、必要な時に適切で良質な医療を利用できるよう地域医療・健康危機管理体制を引き続き充実させる必要があると思われる。

満足度目標値 (令和8年度) 57.6%

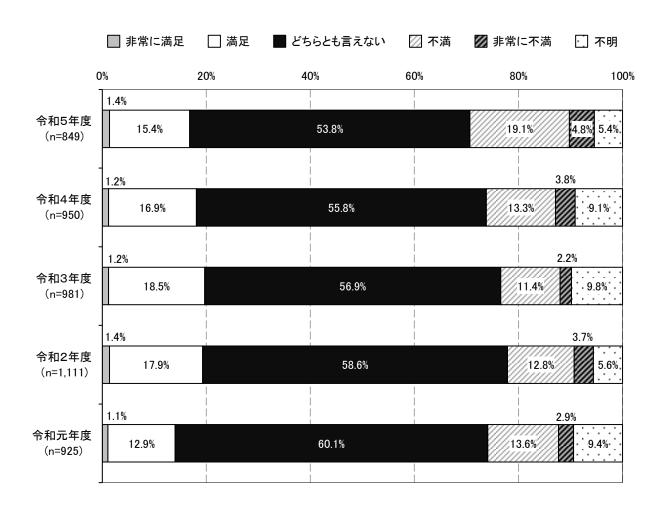


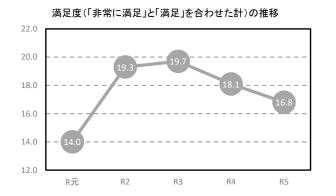


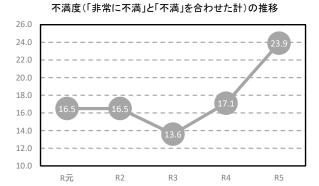


<高齢者・障害者に対する福祉サービス>

満足度は減少し、不満度は増加している。高齢者や障害者が安心して安全に暮らすことのできるまちづくりに向けて、バリアフリー化やユニバーサルデザインの推進とともに、引き続き支援体制の強化を図る必要があると思われる。







<介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は増加しているが、不満度も増加している。今後は、不満度の減少を目指すと同時に目標値の達成に向けて、必要な社会保険・公的扶助のサービスを適正に受けることができる環境を整えていく必要があると思われる。

満足度目標値 (令和8年度) 26.0%

